



～えっ? ノロウイルス?～

ノロウイルスって何?

ノロウイルスは、主に手指や食品などを介して感染し、嘔吐・下痢・腹痛などの症状を引き起こします。感染力が非常に強いため、注意が必要です。

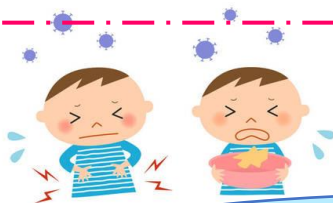
どうやって感染するの?

ノロウイルスは感染者の吐物やふん便から手指を介して感染します。(接触感染)
また、汚染された吐物が乾燥して空中に舞い上がったウイルスを吸い込んで感染することもあります(飛沫感染)

登園の目安

嘔吐や下痢の症状がおさまり、普通の食事ができるようになってからです。

(保育所における感染症ガイドラインより)



《施設内における感染拡大防止策》

- 嘔吐や下痢などの症状の子どもがいた場合は、速やかに周りにはいる子どもたちを別室に移動させ、部屋の換気をします。
- 嘔吐物や下痢便の処理と消毒は速やかに行います。
- 頻繁に手を触れるもの(おもちゃ、ノブなど)は次亜塩素酸ナトリウムで消毒します。
- 処理をした職員が感染しないように、マスク・手袋・エプロンを装着して、汚染物の処理を行います。(次頁参照)

《汚染物処理の注意点》

- 汚染した衣類は、ビニール袋に入れて、保護者に持ち帰ってもらいます。
- 部屋の中で、嘔吐物や下痢便で汚染した衣類や雑巾を洗ったり、干しておくことは絶対にしないようにします。

病児保育室での感染症対策 ③ 飛沫感染対策

飛沫感染はインフルエンザなどの呼吸器感染症の主な感染経路です。感染している人の咳やくしゃみで飛び散る飛沫を吸い込まないようにすれば防ぐことができます。そのためには感染している人から2m以上離れて、その人がマスクをしていれば感染を防ぐことができますが、保育所では子ども同士や職員との距離が近いので現実には困難です。

保育所で実行可能な対策として、①咳症状があり、4, 5歳以上でマスクが着用できる子にはマスクを着用させる。②マスクが着用できない呼吸器症状がある乳児と同室の場合は大きい子にマスクを着用させる。③咳やくしゃみがでそうなときはハンカチ、ティッシュなどで口を覆う(咳エチケット)などがあります。

院長のコラム 病児保育の基本は保育看護のトータルケア!

病児保育は子どもが病気になったときに、単に保護者に代わって病気の子どもの預かる場所ではありません。病気の子どもの早く健康を回復するための支援(看護)と、病気の時でも子どもが子どもらしく生き生きと過ごす支援(保育)の双方を目指しています。病児保育の基本理念は、保育を専門とする保育士と看護を専門とする看護師がお互いの専門性を発揮し、補完しあい協力して病気の子どものケアをする「保育看護」を実践していくことにあります。

Vertical red line

Vertical green line